



和歌山県経営者協会 「会員講演会」

デジタル化と新型コロナにより 変わる産業・仕事



【講師】 前野村総合研究所会長
嶋本 正 氏

【日時】 令和2年 **9月17日(木)**
13:30~15:00

【会場】 **ダイワロイネットホテル和歌山**
4階

【定員】 **50名**

参加無料

プロフィール

和歌山県海南市生まれ
京都大学工学部卒業
野村コンピュータシステム株式会社
(現 株式会社野村総合研究所)に入社
2010年同社代表取締役社長に就任
2016年同社取締役会長に就任
2019年同社取締役 (現任)

※定員になり次第締め切りさせていただきます

■申し込み・お問い合わせ先 **和歌山県経営者協会** TEL 073-431-7376 FAX 073-422-0416

必要事項をご記入の上、切り取らずに和歌山県経営者協会までFAXでお送りください。

【FAX：073-422-0416 和歌山県経営者協会 行】

9月17日会員講演会 参加申込書

事業所名			
TEL		FAX	
参加者 役職・氏名		参加者 役職・氏名	

※申込書にご記入頂きました個人情報は、適切な管理を図り、参加者名簿の作成および本講演会に関する連絡の目的のみ使用します。

会員講演会 を開催

当会主催で「会員講演会」を9月17日（木）、ダイワロイネットホテル和歌山において開催した。今回は㈱野村総合研究所 取締役（元会長）の嶋本正氏をお招きし、「デジタル化と新型コロナウイルスにより変わる産業・仕事」と題し、ご講演いただいた。

嶋本氏は、和歌山県海南市生まれ。京都大学卒業後、野村コンピュータシステム㈱（現㈱野村総合研究所）に入社。2010年、同社代表取締役社長に就任。2016年に同社取締役会長を3年間勤められ、取締役（取締役会議長）として現在も活躍されている。

まず初めに、同社の概要から歴史について話され、昭和から令和にかけての「デジタル化」の推



㈱野村総合研究所
取締役 嶋本氏

移や「デジタル化」に伴う生活や産業の変化について説明。『情報（データ）は令和の時代になり、企業の経営資源（ヒト・モノ・カネ）を変革する中核的役割として非常に重要である。』と述べられた。

また、『「デジタル化」が進むにつれ「売り切りモデル」の限界が指摘され、「アズ・ア・サービス（aaS）」と呼ばれる新しい産業形態が注目されている。時代とともに変化してきた「デジタル化」に対応し、生産側（モノ起点）からではなく消費側（顧客起点）から物事を考えることが重要である』と締めくくられた。

